



アイヌ刺繍を現代の暮らしのインテリアに 中川政七商店、アイヌ工芸作家と初協業し インテリアコレクション16種を9月4日発売

1716年創業の奈良の老舗、株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市 代表取締役社長 十四代 千石 あや）は、「暮らしの工芸布」シリーズの新作として、アイヌ刺繍を取り入れたタペストリーや飾り布などのインテリアコレクション16種を、2024年9月4日（水）より中川政七商店 渋谷店、奈良本店、オンラインショップにて発売いたします。



家にアートを飾るように、暮らしの景色をつくるインテリア布が誕生しました。中川政七商店が2023年11月に立ち上げた「暮らしの工芸布」は、古くからある工芸の技に向き合い、今の暮らしに再解釈するインテリアコレクションです。第1弾の「刺し子・裂織」に続く新シリーズ「アイヌ刺繍」では、北海道釧路市阿寒町に暮らすアイヌ工芸作家8名とともに、暮らしの景色をつくる布を製作いたしました。

日本の北方地域の先住民族・アイヌ民族は、自然と共生する暮らしの中で独自の工芸文化を育み、その技術は現在も刺繍や木彫など、多くの工芸品に受け継がれています。アイヌ民族に伝わる工芸を現代の暮らしに溶け込むインテリアとして表現したのが、「暮らしの工芸布 アイヌ刺繍」シリーズです。

■デザイン

伝統的な文様「アイウシ」に加え、アイヌ工芸作家によって9種の文様を新たに描き起こしました。それぞれの文様には、作家の個性や願いが込められています。白生地に白い糸を重ねた刺繍はアイヌ工芸品として珍しいデザインで、雪、空、木々など阿寒湖の豊かな自然を表現しています。

■ものづくり

刺繍の製法には、アイヌ民族の伝統技法である手刺繍の「イカラリ」や「オホカラ」を取り入れ、また手作業では難しい2メートルに及ぶ大判サイズは機械刺繍で表現。繊細な手刺繍の美しさと、インテリアに存在感を与える大判の機械刺繍、それぞれの違いもお楽しみください。





空間の主役になる「タペストリー」「飾り布」

作家それぞれの個性が際立つ布は、空間の主役となるタペストリーや飾り布に最適。阿寒湖の凜とした空気感や雪景色をイメージした布が、いつもの部屋に新たな景色をもたらします。

サイズ：最小50×70cm～最大63×94cm

作家名：平久美子、鯉屋エリカ、河田泰子

渡辺かよ、山本栄子、床みどり、下倉絵美



棚上にアクセントを加える「飾り敷布」

棚上にさりげないアクセントを加える飾り敷布は、小物やインテリアを一層引き立てます。置く向きを変えることで、文様の表情が異なって見える点も大きな魅力です。

サイズ：最小20×28cm～最大28×40cm

作家名：下倉絵美



食卓やベッドサイドを彩る「多様布」「掛け布」

テーブルクロスや間仕切り、ベッドカバーなど、多用途に使用できる一枚。手で描いた文様の細部も丁寧に拾いながら、柔らかな線と立体感のある刺繍で、自然のゆらぎを表現しています。刺繍は国内刺繍工場で施し、大判サイズの布全体に文様を美しく配しました。

サイズ：最小105×105cm～最大130×200cm

作家名：下倉絵美



2021年より始動したアイヌ工芸作家との協業



アイヌ工芸作家 下倉絵美氏

「今回、機械刺繍も取り入れ、手刺繍だけでは表現できない大きな布にも初めて挑戦しました。アイヌ文様に触れてもらう入口が、ちょっとだけ広がるのかなって。そこから、手仕事の刺繍も機械刺繍と一緒に中川政七商店さんに伝えてもらえると、より深く知っていただけるきっかけになるんじゃないかと思います。」

中川政七商店 暮らしの工芸布 デザイナー 河田めぐみ

「アイヌ刺繍をテーマに開発するにあたって、遥か古から現在に至るまで歴史を遡り、さまざまなことを学びました。初めて阿寒を訪れた3年前から今までの間、長い歴史の旅をしてきたような気持ちです。飾り、眺め、その世界観を想像し、心が動くような瞬間があったら嬉しいです。」

暮らしの工芸布 アイヌ刺繍 販売情報

販売開始：2024年9月4日(水)

取扱店舗：中川政七商店 オンラインショップ、中川政七商店 渋谷店、中川政七商店 奈良本店

特集サイト：<https://nakagawa-masashichi.jp/kogeifu>

商品一覧(すべて税込表記)



飾り布 アイヌ刺繍 イカラリ 44,000円
「イカラリ」は布に糸を置いて、その上を別の糸で押さえていく刺繍の技法です。この技法を用いて、アイヌ民族の伝統的な文様のひとつであるアイウシ文を、刺繍していただきました。(約35×120cm)



飾り布 アイヌ刺繍 オホカラ 44,000円
「オホカラ」は小さな輪の間に糸を通していく鎖縫いの技法です。この技法を用いて、アイヌ工芸作家の鯉屋エリカさんに、文様のデザインと刺繍製作をしていただきました。(35×110cm)



飾り布 アイヌ刺繍 オホカラ 44,000円
「オホカラ」は小さな輪の間に糸を通していく鎖縫いの技法です。この技法を用いて、アイヌ工芸作家の河田泰子さんに、文様のデザインと刺繍製作をしていただきました。(35×110cm)



タペストリーアイヌ刺繍 チヂリ 220,000円
生地全面を使い、オホカラ(鎖縫い)の技法によって大胆に表現したタペストリー。阿寒湖の景色のイメージを無彩色の素材で表現し、刺繍の繊細な立体感を際立たせています。(約63×94cm)



タペストリーアイヌ刺繍 カパラムィヤ 220,000円
1枚の生地を文様の形に切り抜いて縁をかがり、さらにその上からイカラリの技法で刺繍を施して作られています。窓際に飾ったり、光を通すことによって文様の流れがより際立ちます。(約58×85cm)



タペストリーアイヌ刺繍 チカラカラペ 220,000円
1枚の生地を切り取って縁をかがり縫いし、さらにその上に刺繍を施す、手の込んだ技を使って作られています。大らかな文様のデザインと刺繍の表現に、作り手の個性が表れています。(約65×88cm)



タペストリーアイヌ刺繍 モレウノカ 38,500円～
アイヌ刺繍の技法「切伏せ」の重層的なイメージを原点に、ニードル(針)を用いた加工によって新たな表現を試みました。生地の層に、降り積もる雪のイメージを重ね合わせています。(Sサイズ 約50×70cm、Mサイズ 約68×95cm)



タペストリーアイヌ刺繍 カパラ ウパシ 38,500円～
アイヌ刺繍の技法「切伏せ」の重層的なイメージを原点に、ニードル(針)を用いた加工によって新たな表現を試みました。生地の層に、降り積もる雪のイメージを重ね合わせています。(Sサイズ 約50×70cm、Mサイズ 約68×95cm)



飾り敷布 アイヌ文様 ケニ 3,850円～
切り紙のようなイメージの対称的な文様を、隙間なく糸を埋め込むように刺繍を施しています。よく見ると対称のようで微妙な形のずれがあることで、作者による手描きの痕跡を残しています。(Sサイズ 約20×28cm、Mサイズ 約28×40cm)



飾り敷布 アイヌ文様 ル 3,850円～
切り紙のようなイメージの対称的な文様を、隙間なく糸を埋め込むように刺繍を施しています。よく見ると対称のようで微妙な形のずれがあることで、作者による手描きの痕跡を残しています。(Sサイズ 約20×28cm、Mサイズ 約28×40cm)



掛け布 アイヌ文様 プンカル 58,300円
蔓をイメージして描いたアイヌ文様を、機械刺繍の技術を用いて表現しました。縁の刺繍をした後、中を埋めるように刺繍を施すことで、より立体感のある表情に仕上げられています。(約130×200cm)



多様布 アイヌ文様 プンカル 26,400円～
どこまでも連なっていくような蔓をイメージして描いたアイヌ文様を、機械刺繍の技術を用いて表現しました。撚りの強い大麻糸を使用した生地は、薄手でありながら強度があります。(Mサイズ 約105×105cm、Lサイズ 約105×170cm)